

記者発表資料

令和5年11月6日

国際ビジネス推進室国際ビジネス推進第一班

担当 大泉、土屋

電話 022-211-2962

E-mail gbl@pref.miyagi.lg.jp

MEDICA（国際医療機器展）2023 への県内企業出展について —11/13～16 ドイツ デュッセルドルフ市で開催—

県は、ドイツ デュッセルドルフ市で開催される世界最大の医療機器見本市 MEDICA2023 内に出展ブースを確保し、成長産業である医療福祉機器産業に取り組む県内事業者の出展を支援します。

1 概要

MEDICA(国際医療機器展)は、1969年からドイツで開催されている世界最大の医療機器見本市です。会場では、日本の中小企業のニーズが高い医療分野において、世界各地への販路開拓、技術提携等を支援する目的で、独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)が「ジャパン・パビリオン」を設置しています。県では、2021年から当該パビリオン内に出展ブースを確保しており、今年は県内の3事業者が出展します。

MEDICA2023

主催 Messe Düsseldorf GmbH (メッセ・デュッセルドルフ)

会場 ドイツ デュッセルドルフ見本市会場 (デュッセルドルフ市)

期間 令和5年11月13日(月)から16日(木)まで

その他 出展者：70か国から5,395社、来場者：81,000人超 (MEDICA2022実績)

2 出展者（県内事業者）

(1) 株式会社OLPASO（仙台市青葉区）

医療現場での課題となっている人手不足や、それによって起こる人的ミスを解消するため、病院・健診施設での外来採血を支援する病院内の採血管準備装置、トレイ搬送自動採血台、バーコードラベルプリンターの企画・設計、製造・販売に取り組んでいます。

(2) エーアイシルク株式会社（仙台市青葉区）

J-Startup*にも選出されている東北大学発のベンチャー企業。シルク、ポリエステル、不織布等に染色技法で高い導電性機能を持たせることで、ベース繊維の素材感を損なわずに、発汗や洗濯などの悪影響を受けず、生体情報取得、電氣的筋肉刺激やタッチセンサーとして応用できる「LEAD SKIN」の製造・開発を行っています。

※J-Startup 世界と戦えるスタートアップ企業を作り出すことを目的に2018年に経済産業省・NEDO・ジェトロにより運営されている企業支援プロジェクト。

(3) ビヨンドエス株式会社（仙台市青葉区）

東北大学発のベンチャー企業。導電性繊維を活用した座面を通して、着席時における体荷重分散性を計測することができ、さりげなく身体の歪みや、身体に係る負荷を知ることができる「座位センシング」を搭載した椅子の製造・販売を行っています。半導体センサー等を肌に接触させる計測方法に比べて、心理的な抵抗が少ないのが強みであり、システムの導入・運用も比較的容易であるため、近年高い注目を集めています。